

2016年度国際版画美術館事業報告書【講座・イベント版】

プログラム名	デイヴィッド・ホックニー版画展 関連催事 「技法をみる講座・リトグラフ」①②				
講師等	作品解説:学芸係学芸員(高木幸枝) 実技指導:普及係学芸員(上村牧子)、普及係臨時職員(木村友香)		担当者名	普及係 上村牧子	
開催日・時間	①2016年10月29日(土) 13:30~16:00 ②2016年10月30日(日) 13:30~16:00		場所	企画展示室、版画工房	
参加募集方法	講座チラシ(8/16~配布)、展覧会チラシ(8/26~配布)、広報まちだ(9/21号)、版画美術館HP(実技講座、イベント情報、展覧会情報)		参加者対象	高校生以上	
参加者数	実績	定員	市民率	応募者数	当選倍率(受講歴による調整を実施)
	①市内:7人 市外:3人 計:10人 ②市内:1人 市外:8人 計:9人	各回10人	42%	①市内:7人、市外:18人 ②市内:3人、市外:18人	①市内:1、市外:5.33、 計2.50倍 ②市内:1、市外:2.43、 計2.10倍
事業概要	「デイヴィッド・ホックニー版画展」(会期:2016年10/1~11/23)の関連催事として開催。受講生はホックニーのリトグラフ作品を鑑賞しながら、担当学芸員からその制作背景や技法についての解説を聞いた後、版画工房でリトグラフの制作実演を見て、実際に版への描画と刷りの制作体験をする。				
ねらい・対象	実技指導	展覧会関連	学校連携	友の会連携	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞とあわせてその制作を体験することで、作家や版画技法への理解を深める。 ・技法に重点を置いた作品解説を通して作家と作品の魅力に迫る。 ・制作工程が複雑で解説文や口頭では分かりにくいリトグラフ技法の制作を体験し、理解を深める。 ・作品鑑賞には興味があるが制作までは至らない層の応募を誘う。 ・対象は高校生以上の初心者とする。 				
主な収入	受講料収入 ※展覧会鑑賞券は参加者各々が別途購入。				その他の特定財源
	500円 × 19人 = 9,500円				0円
事業経費	●講座材料費 3,250円 <内訳> ①アルミ版(桎版)2枚:1600円、 ②紙(いずみ、33×26cm)19枚:1650円、 その他(描画材製版材料、インク、溶剤等)は全て在庫。 ●人件費 17,700円 <内訳> 臨時職員8,850円×2回=17,700円				合計:約21千円
主な広報・取材等	広報=前掲の参加募集方法に同じ。取材=なし				
アンケート結果	回収数	回収率	回答した市民率	回答した市外者率	満足度
	17件(無記入含む)	89%	41%	59%(無記入含む)	94%
主なご意見	別紙のとおり。				
予備調査	山梨県立美術館と横浜美術館の小学生を対象とした類似講座を見学。講座進行等を参考にした。リトグラフの様々な技法書に改めて目を通し、情報を整理した。ホックニーの作品については過去の図録やケネス・タイラーのレゾネと、ネット上の海外美術館の情報から制作方法を中心に調査した。受講生のほとんどが初心者で、あまり深い質問はなかったが、解説資料作成に適切な準備だったと考える。				
募集方法・広報	従来の講座広報(市内外施設へチラシ配布、「広報まちだ」および当館HPの実技講座欄に掲載)に加え、展覧会関連催事として展覧会チラシ(8/26から配布)、館HPのイベント情報に掲載した。募集期間は9/21~10/2(11日間)。受講生のアンケートによると、当館HPを閲覧しての応募が最多、次いで講座チラシ、広報まちだを見ての順。展覧会チラシを見ての応募は1人。展覧会チラシは講座チラシよりも広く配布される媒体であるが、配布対象となる作品を鑑賞することに関心がある客層からの反応は鈍かったと考える。作品鑑賞を主とする層へのPRとして、「版画芸術」のインフォメーション欄への掲載も検討したが、展覧会チラシの反応を見るため今回は行なわなかった。				
応募状況	①②とも市外からの応募が市内を上回っている。当館の実技講座経験者は46人中5人(2日間合計)。応募数は従来の1日講座と同様だったことから展覧会チラシを見ての応募は少なかったと考えられる。				
反省点と改善方法					

	会場設営	<p>リトグラフの制作を初心者も安全に体験できるように、不要な機材を目に付かないようにする、立入り禁止の場所が分かるよう床にテープを貼るなど会場をレイアウトした。機材は初心者が扱いやすいものを使用した。</p> <p>待ち時間の対応として、リトグラフやホックニーに関連した資料を自由に閲覧できるよう設置したほか、「リトッコ」という小型プレス機で小作品を刷るスペースを作り、講座前に刷り体験を行なった。実演中の動線も問題なく、適切だったと考える。</p>
	備品等手配	<p>展示室での作品解説で使用する画像資料をA3サイズに印刷したが、小さくて見にくかったようだ。展示室内が暗かったことも一因なので、A1位の可動式液晶パネルがあれば明るく見せやすかったと思う。</p> <p>消耗品の版、描画材、インク、紙は、講座で使用するものと同じだったので、在庫で対応した。配布資</p>
	当日進行	<p>講座前に簡単なアンケートを取った結果、ほぼ全員が初心者と判り、できるだけ基本的な解説にしよう努めた。受講生は基本的な制作方法は理解できたようだが、ホックニーが多用した写真製版によるリトグラフは分かりにくかった感触がある。実際の原稿や版、機材を見せて解説したが、解説にかかる時間が少なかったことが一因と思われる。講座時間(2時間半)に対し、内容が多かったと考えられるが、写真製版の方法が知りたかったという受講生もあり、単に解説を省くのではなく、30分ほど時間を延長した内容にすれば余裕のある進行になり理解も深まったと考える。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>この催事は美術館に版画工房があるという当館の特色を活かした内容だったと思う。「これをきっかけにもっと版画を作ってみたい」という受講生の声があり、その後の講座応募へつながっている。今回はホックニーという作家であったことが、資料も集まりやすく、作品もわかりやすく、講座が組立てやすかった。異なる技法で同様の講座も考えられるが、今回の実践を踏まえ、技法理解にとどまらず、技法から作家や作品に迫る内容を検討したい。</p>	

■講座の様子

会場 版画工房の様子

手前机にはホックニーの資料を設置。



講座前に小型リトプレス機「リトッコ」を使って簡単な刷り体験を行なった。



1) 講座開始 版画工房に集合しオリエンテーション

作品鑑賞前に簡単な技法解説を行なった。



2) 作品鑑賞 展示室に移動

受講生は各自予め用意したチケットで入室。



展覧会担当学芸員が展覧会の章立てに沿ってホックニーの作品の展開と、その人物について解説。



普及係学芸員が作品の技法について画像資料と照らしながら解説。



3) 制作体験 版画工房に戻る

リトグラフの描画材についてそれぞれの特徴を解説。



4) 版に描画

1版に5名ずつ寄せ描きし、様々な描画材を試す。



■2016年度「技法をみる講座・リトグラフ①②」アンケート 集計結果

講座実施日：2016年10月29、30日 土、日曜日（各日とも同じ内容）

アンケート実施日：10月29日 受講者数：10名 回答数：9名

10月30日 受講者数：9名 回答数：8名 合計回答者数：17人

1、この講座を何でお知りになりましたか？（複数回答可）

無回答	0	講座チラシ入手場所 ＝市民センター、美術学校、大学 その他＝フェイスブック、友の会会報誌
版画美術館HP	8	
広報まちだ	3	
展覧会チラシ	1	
講座チラシ	4	
来館して知った	0	
その他	3	
計	19	

2、講座を受講した感想をお聞かせください。

無回答	1
非常に満足	10
満足	5
ふつう	1
やや不満	0
不満	0
計	17

3、講座内容は良かったと思いますか？

無回答	0
非常にそう思う	15
そう思う	2
ふつう	0
あまり思わない	0
思わない	0
計	17

4、説明はわかりやすかったですか？

無回答	0
非常にそう思う	12
そう思う	5
ふつう	0
あまり思わない	0
思わない	0
計	17

5、講座の進行や準備は良かったと思いますか？

無回答	0
非常にそう思う	10
そう思う	7
ふつう	0
あまり思わない	0
思わない	0
計	17

6、版画工房の設営（見やすさなど）は良かったですか？

無回答	0
非常にそう思う	9
そう思う	8
ふつう	0
あまり思わない	0
思わない	0
計	17

7、講座期間は適当でしたか？

無回答	0
短い	3
やや短い	11
適当	3
やや長い	0
長い	0
計	17

8、この講座を受講して、リトグラフに関する理解や興味が深まりましたか？

無回答	0
非常にそう思う	9
そう思う	7
ふつう	1
あまり思わない	0
思わない	0
計	17

9、この講座を受講して、リトグラフの実技講座を受講してみたいと思いましたか？

無回答	1
はい（10回程度の講座）	9
はい（2回程度の講座）	6
はい	1
いいえ	0
計	17

10、他の版画技法で今日のような講座があった場合、どんな技法をご覧になりたいですか？

無回答	2	その他=写真製版
銅版画	6	
木版画	4	
スクリーンプリント	7	
その他	1	
計	20	

【性別】

無回答	1
男性	5
女性	11
計	17

【年齢】

無回答	1
10歳代	0
20歳代	2
30歳代	2
40歳代	2
50歳代	3
60歳代	5
70歳代	2
80歳代	0
計	17

【お住まい】

無回答	1
町田市内	7
その他	9
計	17

その他＝
 (東京都)立川市、中野区、調布市、
 (神奈川県)横浜市、相模原市、大和市、秦野市、
 (その他)入間市、那須塩原市

■アンケート自由記載欄のまとめ

1. 技法について(理解度)

- ・ リトグラフという技法が少し分かった気がします。薬品、工程が複雑で私の理解が追いつかないのがとても残念でした。年のせいかも？
- ・ リトグラフが思っていたより複雑なのにびっくりしました。簡単ではありません。
- ・ リトグラフの仕組みがよくわからなかったのですが、水と油でインクがのるように版をつくるという事がわかりました。直描きできる版画というのは魅力的だなと思いました。

2. 道具機材

- ・ 本格的な道具を使わせてもらうことで、リトグラフのことが自分なりによくわかりました。

3. 今後の講座について

- ・ 定期的な版画講座があるとうれしいですが、人数的に難しいですかね。

4. 進行・解説など

- ・ 準備段取りがしっかりできており気持ちよく講座を受けることができた。とても良い経験となりました。
- ・ 学芸員の方の作品解説、とても興味深く、講座を担当してくださった方も丁寧で楽しい時間でした。

5. 抽選について

- ・ 美術のことに色々興味はあるものの、抽選で当たるかも分からないので、できれば確率のいい手頃なものがあると嬉しい。他にも応募したけれど、また応募してみます。
- ・ 何度も抽選にはずれていたなので、今回はうれしかったです。
- ・ 講座の回数を増やしていただければ嬉しい。

6. その他

- ・ とても楽しかったです。展覧会の見方が変わります。
- ・ 時間がもっとあったら色々試してみたいと思いました。参加できてとても嬉しいです。
- ・ 短時間の講座でしたが、鑑賞と解説、実演と盛りだくさんでとても楽しかったです。リトグラフは難しい技法ですが、また機会があればチャレンジしてみたいです。